




吉川八幡宮拝殿



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	よしかわはちまんぐうはいでん
所在地	吉備中央町吉川
指定年月日	平成12年3月28日
解説	棟札等から元治元年(1864)の建造と分かる。全国的にも類例の少ない切妻造り、妻入りの拝殿の様式。屋根は翫[とち]葺きの縦長の拝殿。梁間1間、桁行5間。海老虹梁で本殿と繋ぐ。大工は石原久六河富。幕末期の建物ではあるが、柱より上の構造に珍しい技巧が用いられているのが特徴で、県指定重要無形民俗文化財「吉川八幡宮当番祭」で伝統的に使用され、神社建築及び祭礼を考える上で貴重な建物である。
アクセス方法	中鉄バス「吉川八幡神社」下車または備北バス「吉川」下車
公開状況	外観のみ
設備	 駐車場  トイレ  障害者用駐車場
備考	